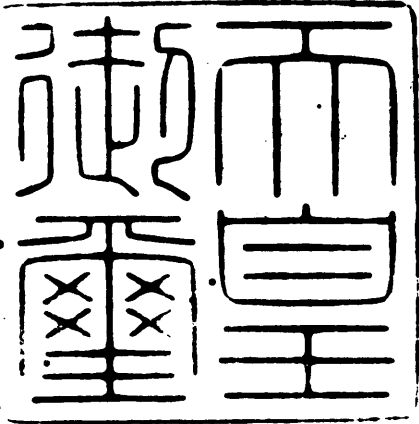


勅令第五號

朕國民職業能力申告令ヲ裁可シ  
茲ニ之ヲ公布セシム

裕仁



昭和十四年一月六日

内閣總理大臣男爵 平沼騏一郎  
 拓務大臣 八田嘉明  
 厚生大臣 廣瀨久忠

勅令第五號

國民職業能力申告令

第一條 國家總動員法第二十一條ノ規定ニ基ク帝國臣民ノ職業能力ニ關スル事項ノ申告及其ノ職業能力ニ關スル検査ハ別ニ定ムルモノヲ除クノ外本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 職業能力ニ關スル事項ノ申告（以下申告ト稱ス）ハ本令施行地内ニ居住スル年齡十六年以上五十年未満ノ帝國臣民タル男子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノ（以下要申告者ト稱ス）ニ付之ヲ爲サシムルモノトス

- 一 本令施行地内ニ於テ引續キ三月以上厚生大臣ノ指定スル職業ニ従事スル者

二 引續キ一年以上前號ノ職業ニ從事シテ其ノ職業ヲ罷メ其ノ職業ヲ罷メタル日ヨリ五年ヲ経過セザル者

三 厚生大臣ノ指定スル大學、專門學校、實業學校其ノ他之ニ準ズベキ各種學校ニ於テ厚生大臣ノ指定スル學科ヲ修メ其ノ學校ヲ卒業シタル者

四 厚生大臣ノ指定スル技能者養成施設ニ於テ所定ノ課程ヲ修了シタル者

五 厚生大臣ノ指定スル檢定若ハ試験ニ合格シタル者又ハ厚生大臣ノ指定スル免許ヲ受ケタル者

六 其ノ他厚生大臣ノ指定スル者

第三條 要申告者及前條第一號ノ職業ニ從事スル要申告者ヲ使用

スル者（以下使用者ト稱ス）ハ要申告者ノ職業能力ニ關スル事項ノ申告義務者（以下申告義務者ト稱ス）トス但シ要申告者ヲ臨時ニ使用スル者ニシテ命令ヲ以テ定ムルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第四條 帝國臣民要申告者（第十一條ノ規定ニ該當スル者ヲ除ク）タルニ至リタルトキ又ハ第十一條ノ規定ニ該當スル要申告者同條ノ規定ニ該當セザルニ至リタルトキハ申告義務者ハ當該事實ノ生ジタル月ノ翌月末日迄ニ左ニ掲グル事項ヲ要申告者ガ第二條第一號ノ職業ニ從事スル者ナル場合ニ在リテハ其ノ者ノ就業地ヲ管轄スル職業紹介所長ニ、其ノ他ノ者ナル場合ニ在リテハ其ノ者ノ居住地ヲ管轄スル職業紹介所長ニ申告スベシ申告ヲ爲

シタル後ニ於テ要申告者ガ内地、朝鮮、臺灣、樺太又ハ南洋群島ノ何レカノ地域ヨリ他ノ地域ニ居住ノ場所ヲ移シタル場合ニ於テ其ノ地域ニ於テ仍要申告者タルトキ亦同ジ

- 一 氏名
- 二 出生ノ年月日
- 三 本籍
- 四 居住ノ場所
- 五 兵役關係
- 六 學歷
- 七 職業ニ従事スル者ニ在リテハ其ノ職業名
- 八 第二條第一號ノ職業ニ従事スル者（職業ノ場所ノ一定セ

ザル者ヲ除ク）ニ在リテハ就業ノ場所（二以上ノ就業ノ場所ヲ有スル者ニ在リテハ主タル就業ノ場所）

- 九 第二條第一號ノ職業ニ従事シ又ハ従事シタル者ニ在リテハ其ノ職業ノ經歷及技能程度
- 十 第二條第四號ニ該當スル者ニ在リテハ其ノ修了シタル課程ニ關スル事項
- 十一 第二條第五號ニ該當スル者ニ在リテハ其ノ受ケタル試験、檢定又ハ免許ニ關スル事項
- 十二 給料又ハ賃金ヲ受クル者ニ在リテハ其ノ額
- 十三 配偶者ノ有無及現ニ扶養スル者ノ數
- 十四 精神又ハ身體ノ障礙ニ因リ勞務ニ堪ヘ難キ者ニ在リテハ

其ノ狀況

十五 總動員業務從事ニ關スル希望

十六 其ノ他命令ヲ以テ定ムル事項

申告義務者前項ノ申告ヲ爲シタル後ニ於テ同項第一號、第三號、第五號乃至第八號、第十號又ハ第十一號ニ掲グル事項ニ、尙第二條第一號ノ職業ニ從事セザル要申告者ニ在リテハ前項第四號ニ掲グル事項ニ異動ヲ生ジタルトキハ當該事實ノ生ジタル月ノ翌月末日迄ニ前項ノ職業紹介所長ニ其ノ旨申告スベシ

第五條 厚生大臣特ニ必要アリト認ムルトキハ前條ノ規定ニ依ル申告ノ外全部又ハ一部ノ要申告者ニ關シ前條第一項各號ニ掲グル事項ノ全部又ハ一部ニ付申告ヲ命ズルコトヲ得

第六條 要申告者左ノ各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ申告義務者ハ三十日以内ニ其ノ旨前ニ申告ヲ爲シタル職業紹介所長ニ申告スベシ

一 要申告者タラザルニ至リタルトキ（第四條第一項後段ノ場合ヲ含マズ）

二 第十一條ノ規定ニ該當スルニ至リタルトキ

第七條 同一ノ要申告者ニ付其ノ者及其ノ使用者共ニ申告義務者タル場合ニ於ケル申告ハ申告義務者共同シテ之ヲ爲スベシ

第八條 地方長官又ハ職業紹介所長ハ命令ノ定ムル所ニ依リ當該官吏ヲシテ要申告者ニ就キ技能其ノ他ノ職業能力ニ關シ検査ヲ爲サシムルコトヲ得

第九條 地方長官又ハ職業紹介所長ハ命令ノ定ムル所ニ依リ本令ノ申告又ハ検査ニ關シ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基ク報告ヲ徴スルコトヲ得

地方長官又ハ職業紹介所長ハ本令ノ申告又ハ検査ニ關シ必要アリト認ムルトキハ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ基キ當該官吏ヲシテ工場、事業場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ、業務ノ狀況又ハ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ當該官吏ヲシテ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第十條 厚生大臣必要アリト認ムル場合ニ於テハ他ノ大臣ニ囑託シテ其ノ所轄スル官衙ノ長ヲシテ前二條ノ規定ニ準ジ検査ニ關スル職務ヲ行ハシムルコトヲ得

第十一條 本令ハ第六條第二號ノ規定ニ依ル申告ニ關スル規定ヲ除クノ外陸海軍軍人ニシテ現役中ノモノ（歸休下士官兵ヲ除ク）及戰時若ハ事變ニ際シ又ハ兵役法第五十五條第二項ノ規定（志願ニ依リ兵籍ニ編入セラレタル者ニ付テハ之ニ該當スル勅令ノ規定ヲ含ム）ニ依リ召集中ノモノ、兵籍ニ編入セラレタル陸海軍學生生徒（海軍豫備練習生及海軍豫備補習生ヲ含ム）、陸海軍軍屬、國家總動員法第四條ノ規定ニ依リ徵用中ノ者、醫療關係者職業能力申告令ノ規定ニ依リ申告ヲ爲スベキ者、獸醫師法ニ依リ農林大臣ノ免許ヲ受ケタル獸醫師（朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督ノ免許ヲ受ケタル獸醫師、臺灣ニ在リテハ臺灣總督ノ免許證ヲ受ケタル獸醫、樺太ニ在リテハ樺太廳長官ノ假免狀ヲ受ケ

タル歌醫、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官ノ指定スル者ヲ含ム）  
並ニ船員法ノ船員及朝鮮船員令ノ船員ニ關スル申告及職業能力  
ノ検査ニハ之ヲ適用セズ

第十二條 要申告者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノノ申告ニ  
關シテハ命令ノ定ムル所ニ依リ申告期限ヲ延長スルコトヲ得  
一 陸海軍軍人ニシテ召集中ノモノ（前條ニ規定スル召集中ノ  
者ヲ除ク）

二 外國旅行中ノ者

三 其ノ他命令ヲ以テ定ムル者

第十三條 二以上ノ就業ノ場所ヲ有スル者ニ付テハ主タル就業ノ  
場所ノ所在地ヲ以テ、就業ノ場所一定セザル者及船舶内ニ於テ

就業スルノ常況ニアル者ニ付テハ居住地ヲ以テ本令ノ就業地ト  
看做ス

第十四條 要申告者ニシテ厚生大臣ノ指定スル官廳ニ使用セラレ  
又ハ使用セラレタルモノニ關スル申告及職業能力ノ検査ニ付テ  
ハ命令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第十五條 本令中厚生大臣トアルハ朝鮮ニ在リテハ朝鮮總督、臺  
灣ニ在リテハ臺灣總督、樺太ニ在リテハ樺太廳長官、南洋群島  
ニ在リテハ南洋廳長官トシ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ道  
知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長、樺太ニ在リテハ樺太廳  
長官、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トシ職業紹介所長トアル  
ハ朝鮮ニ在リテハ府尹、郡守又ハ島司、臺灣ニ在リテハ市尹又

ハ郡守（澎湖廳ニ在リテハ廳長）、樺太ニ在リテハ樺太廳支廳長、南洋群島ニ在リテハ南洋廳支廳長トシ職業紹介所トアルハ朝鮮ニ在リテハ府郡島、臺灣ニ在リテハ市郡（澎湖廳ニ在リテハ廳）、樺太及南洋群島ニ在リテハ支廳トス

第十六條 本令ニ規定スルモノノ外申告ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附 則

本令ハ昭和十四年一月二十日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島ニ於ケル申告及検査ニ關スル規定ハ昭和十四年六月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令ノ申告ニシテ昭和十四年三月末日前ニ其ノ申告期限ノ到來ス

ルモノハ同日迄ニ之ヲ爲スヲ妨グズ